

# パンチパーマ抹殺計画

細矢です。

## 殺すべきか悩みました

数年前、先輩と人殺しを企てたことがあります。

想像しただけで、手が震えました。  
包丁を持っただけで足がすくみました。

なぜ、殺人計画を密かに企てたのか…。  
少しだけ私の話を聞いてください。

そして、その理由を話す前に  
その原因と私のヤバい過去を告白します。

…

私は以前、パチプロでした。

誰もが一度は聞いたことがある  
ろくでなしのパチプロです。

…

「細矢さん、パチプロって何ですか？」

僕はお母さんの言われた通りに真面目に  
大学を卒業し、一流会社に務め、賭け事は  
一切したこともない、マザコンの優等生です。

髪型はいつも『七三分け』です。

子供のころから同じ髪型なので  
髪分け目が左右に1cmでもずれると  
すぐにわかるほどです。

パーマもかけたこともありませんし、  
茶髪にしたこともありません。

クラスの不良と目が合ったとき、  
さりげなく逃げる方法もしています。

カツアゲされないために、靴下の中に  
ジュース代を忍ばせるテクニックもマスターしています。

学校の机に自分の名前を彫ったこともありません。  
スプレーで好きな女性の名前を落書きしたこともありません。

クラスの女子に、

**「ねえ、君はオナニーしてるの？」**

と聞かれても、

「ぼ、ぼ、僕はそんなことするわけないだろ！」

と答えていました。

そんな優等生な僕は『パチプロ』というわけのわからない  
反社会的な不良の人たちのことは良く分かりません。

何ですか？パチプロって？

...

『パチプロ』という人種をあまり知らない人も多いと思います。

簡単にその意味を紹介するとウィキペディアによると…

=====  
パチンコ、パチスロを遊戯することで得た収入を  
生活の手段としているパチプロ・スロプロは、  
社会一般では職業として認められていない。  
=====

という現在は職業として認められていない職業です。

私には本音をいうと思い出したくもない  
人間ピラミッドの底辺にいた暗い過去です。

で、

この『パチプロ』という職業は、  
見た目は派手な方が多いのですがかなり地味な職業です。

パンチパーマをかけて、金のブレスレッドを身にまとい  
タバコを吸って威張っていますがサラリーマンよりも  
お坊さんよりも、

実は、真面目な職業です。

まず出勤時間。お店のオープン前の1時間前は当たり前。  
狙っているパチンコ台を確保するために、真夏でも真冬でも  
1時間前には出社し、並んでいます。

そして、日中の仕事も同じ。  
そこらのお坊さんよりも厳しい修行をしています。

どんな修行なのかというと、

# パチンコパーマのおっさんが、 11時間ぶっつけで瞑想

しています。

パチンコは勝てるパチンコ台さえ確保さえすれば  
バカでも勝てます。座っているだけで稼げます。

なので、朝一番でパチンコ台を確保したら、  
朝10時から閉店30分前までずっと座りっぱなし。

出まくっている日はトイレ休憩も1日に2回ていど。  
食事もとらずに11時間は座り込みます。

禅宗のお坊さんが精神修業のために線香の火を見ながら  
1日40分の座禅をするそうですが、その15倍以上である  
660分を液晶画面に集中し座り込むのです。

一見派手に思えますが、痔になるほど地味な仕事です。

しかし、これは考え方を変えると、楽な仕事ともいえます。  
朝早く起きて、ぼ〜とパチンコ台を見ていれば食うには困らない。

なので、一度、この『うま味』を覚えてしまうと  
足を洗うことができず、パチプロで10年以上も  
生計を立てる人もいます。

平和で楽な仕事ともいえます。

しかし、慣れてしまえば楽に思えるパチプロという職業でも

## うつ病になるたった一つの理由

が存在します。

どんなパチプロでも、この問題が解決できないと、長くは活躍できません。

それは何か？

それは…必ずと言っていいほど、

## パチンコ台を奪い合う抗争が勃発

します。

パチンコは座った台で8割は勝敗が決まります。

『代打ち』というアルバイトがあるように  
良い台さえ確保すればバカでも勝てます。

これは逆に言えば狙った台を取れなければ稼げません。

つまり、台を確保することができなければ、

## ホームレスになって自殺する

しかないことを意味します。

一匹のメスを奪い合うオスライオンがごとく  
パチプロ同士の熾烈な争いが水面下で起きているのです。

最初はドアが開いたと同時に狙った台へと  
猛ダッシュする短距離走にはじまり、

翌日は短距離走で負けた者が、出勤時間を早める作戦へと移行します。

ライバルが1時間前に並べば、2時間前に並び、  
ライバルが2時間前に並べば、3時間前に並ぶのです。

戦いが泥沼化するとイベントに関わらず、  
ライバルを精神的に叩きのめすために  
閉店と同時に並びこんだ人もいたほどでした。

時には、

## 殴り合いの奪い合い

をします。

そして、勝った人間はその店に残り、  
負けた人間はその店から去っていくのです…。

動物界の掟と全く同じことが起きているのです。

ただ、そんなことをやっていると体がもちません。  
そこで、私たちのグループは、このパチンコ台の奪い合いを収集すべく  
同じパチプログループの先輩と作戦会議を開いたことがあります。

私：

「先輩、いがみ合うのって面倒じゃないですか？  
毎朝並んで、猛ダッシュするの疲れましたよ。  
転ぶとカッコ悪いですしね…」

先輩：

「だよな。俺もそう思うよ。サラリーマンより朝が早いし、

いつも喧嘩してたら、普通に働いた方が楽だよな。」

私：

「そうですよ。何か画期的な方法でもないですかね…」

先輩：

**「あのおっさんが死ねば早いけどね」**

※おっさんというのは、当時、最大のライバルだったパンチパーマのおじさんのことです。

話がどんどんエスカレートしてしまいました。

人間というのは、邪魔なものを排除したい気持ちが  
出てくるのです。

最後は自分の欲望を達成するために  
ライバルが死んでしまうこと考え出してしまったのです。

ただ、それは危険です。  
憎悪が憎悪を招くだけなのです。

私たちは解決策を見いだせずと同じ日々を繰り返すしかありませんでした。

そんな悶々とした日々を送っていたある日に事件が起きました。

あの先輩が、

**おっさんと浮気していました**

死ねばいいとまで言い放った人間が、  
缶コーヒーの BOSS を片手に、あのムカつくおっさんと  
開店前のお店で仲良く語り合っていたのです。

信じられませんでした。  
私を差し置いておっさんと協定を結ぼうとしていたのです…。

私：

「先輩、なんであいつと話してるんですか？  
もしかして、私を裏切るんですか！？」

仲間：

「バカ違うよ。これはな、作戦なんだよ。  
まあ、落ちついて俺の話聞いてくれ。」

先輩の理論はこうでした。

お互いに争うことは長期的にみて得が無い。  
名前も身分も明かさずにイガミあっても意味がない。  
ならば、好意的な協力関係を築いた方が得であると考えたのです。

ならば、上手に棲み分けを行い、共存共栄の作戦と  
取ろうとしていたのです。

ただ、私は反対でした。  
自分だけなら負ける気がしなかったのです。  
猛反対をしたのです。

しかし、先輩のこの一言で考えが変わったのです。  
サル並みの脳みそだった私に先輩がこういったのです。

## 「自分の名前ほど美しいものはない」

衝撃的でした。  
理解するまでに数十秒かかりましたが、意味が理解できたとき、  
先輩の理論に賛成することになったのです。

つまり、何が良かったのかというと、



『誰もが』自分の人生では自分が主人公であるということです。

世界で一番ワクワクする冒険は自分の人生であり、  
世界で一番関心があることは、自分の人生なのです。

つまり、世界で一番美しいものは、自分の名前であり、  
それは、相手も同じということなのです。

私にも私の人生があると同じように、  
おっさんにもおっさんの人生があり、家族があり、  
将来があり、夢があり、守るべきものがあるのです。

自分の人生を邪魔されたら死ぬ気で追いかうように  
おっさんの人生を邪魔したら、当然ながら、相手も  
死に物狂いで対抗するしかないのです。

その真理とも言える言葉が、

**「自分の名前ほど美しいものはない」**

という一言に集約されていたのです。

私はこの一言に衝撃を受けました。  
自分の考えが浅はかだったことに気付いたのです。

そして、私はこの日以来、他人の利益も考えるようになりました。  
おっさんと仲良くなり、出勤時間も遅くなり、  
平和で安定した収支を残すようになったのです。

...

これはビジネスでも全く同じです。

大して稼げないバカな起業家は、「俺が、俺が、どうだ凄いだろ！」  
と踏ん返っていますが、彼らは必ずといいほど  
数年後には消えていきます。

しかし、

## 長期に安定した帝国を築く商人

ほどこの言葉を理解し実践しています。

商売という大前提があることは当然ですが、  
お客の欲望をしっかりと捉え、お客の夢と  
自分の夢を重ね合わせていきます。

**お客が主人公であることを決して忘れないのです。**

そして、私たちのセミナーへご参加頂いた方は  
ご存知だと思いますが、その気持ちを忘れないためにも  
**お客様の名前を手書き書くハガキことを  
もう何年も実践しています。**

お客さんの名前を自分の手で書き、  
**「自分の名前ほど美しいものはない」**  
ということを露骨に実践しているほどです。



※実際に私たちが送付してきたハガキ

私は起業家から相談を頂くことが多いですが、  
彼らが自分本位過ぎると、空回りすることが多いです。

なぜなら、

## お金はお客から頂戴する

ということを忘れているのです。

お金が勝手に空から降ってくるものではありませんし、  
ある日突然、銀行口座に振り込まれているものでも  
ないのです。

自分の本位過ぎると、お客の要望を理解できず、  
結果として失敗することが多いのです。

なので、もし、今はビジネスが上手くいっていない方は、

ぜひ、

### 「自分の名前ほど美しいものはない」

という言葉をお客のビジネスに取り入れてみてください。

お客の要望を聞き、お客の悩みを解決し、  
夢を叶えるように仕事をしてみてください。

人生初のホームランも打つチャンスが遂にやってくるでしょう。

あなたのファンとなったお客は、  
あなた以外をお客の体が拒否するようになるのです。

あなた以外の起業家と浮気することなく、  
あなたと共に人生を歩みだすようになります。

ファンができることで、誰も読まなかったブログだろうと、

不良在庫も現金化することが可能になります。

物販だろうとも、アフィリエイトであろうとも、  
情報販売であろうとも、原理原則は同じです。

なので、何でも売れるようになるので、あなたが望めば、  
年収100万円の主婦であろうとも、年収300万円のサラリーマンや  
年収1000万円（月83万円）を手にすることも可能です。

そして、たくさんの喜びと資産をあなたにもたらしてくれます。

ぜひ、ビジネスに悩んだときは、  
この教訓を思い出し生かしてください。

そうすれば、頑固で強力なあなただけの帝国が築けます。

ではまた！

細矢ますゆき

フェイスブックでお友達募集中

<https://www.facebook.com/masuyuki.hosoya>

細矢のブログはこちら

<http://m-hosoya.jugem.jp/>